

令和2年度 社会福祉法人函南町社会福祉協議会事業報告

1 法人運営事業

【理事会・評議員会の開催】

(1) 会議開催状況

理事会 (年間 5回開催)

開催年月日	審 議 内 容	出 席 人 員
R2. 6. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告 ・令和元年度会計決算 ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正 ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正 ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会経理規程細則の制定 ・令和2年度会計補正予算(第1号) ・評議員候補者の推薦 ・評議員会の招集 	理事 13名 監事 2名
R2. 10. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度会計補正予算(第2号) ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会事務局規程の一部改正 ・評議員会の招集 	理事 12名 監事 1名
R3. 1. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正 ・令和2年度会計補正予算(第3号) ・評議員会の招集 	理事 12名 監事 2名
R3. 3. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正 ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正 ・令和2年度会計補正予算(第4号) 評議員会の招集 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度会計予算 	理事 12名 監事 2名
R3. 3. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会事務局長の選任 ・社会福祉法人函南町社会福祉協議会職員の定年退職日の延長 	書面決裁

評議員会 (年間 4回開催)

開催年月日	審 議 内 容	出 席 人 員
R2. 6. 18	・令和元年度事業報告 ・令和元年度会計決算 ・令和2年度会計補正予算 (第1号) ・理事の選任	評議員 24名 監事 1名
R2. 10. 15	・令和2年度会計補正予算 (第2号)	評議員 23名 監事 2名
R3. 2. 15	・令和2年度会計補正予算 (第3号)	評議員 26名 監事 2名
R3. 3. 30	・令和2年度会計補正予算 (第4号) ・令和3年度事業計画 ・令和3年度会計予算	評議員 23名 監事 2名

【監査の実施】

令和2年5月22日 (金) 令和元年度事業報告及び会計決算監査
令和2年12月23日 (水) 令和2年度中間監査の実施

【財源の確保】

会員数及び会費

○ 一般会員会費	7, 886件 (前年度7,875件)	3, 941, 746円 (住民)
○ 特別会員会費	40件 (前年度 38件)	199, 000円 (法人)
○ 賛助会員会費	89件 (前年度 94件)	89, 000円 (個人)
○ 施設団体会費	23件 (前年度 23件)	84, 000円 (施設)

2 地域福祉活動推進事業

【社会福祉協議会委員会活動】

(1) 地域福祉推進委員会の開催

ふれあい広場の開催について及び社会福祉大会、福祉講演会について検討した。また、新型コロナウイルス感染症拡大のためふれあい懇親会、緊急通報システム、一人暮らし世帯ガス漏れ警報器設置事業の事業継続について検討を行った。

令和2年6月25日（木）開催

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

理事会で推薦された評議員候補者を選任・解任委員会で選任した。

令和2年6月9日（火）開催

【第6次地域福祉活動計画の策定】

地域福祉活動計画策定委員会を4回開催し、令和3年度から4年間の計画書を策定した。

【ボランティア活動の育成・強化】

(1) ボランティア連絡協議会

「ボランティア連絡協議会」を中心に、町内の福祉施設に対するボランティア活動等を実施し、地域福祉活動に貢献した。

○登録会員数 274名（前年度 254名）

○ボランティア連絡協議会グループ別（20グループ）

グループ名	活動内容
給食	・ほほえみの里デイサービス利用者の昼食作り ・災害時防災訓練において炊き出し

施設奉仕	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設への大型年賀状作成・配布 ・福祉施設の季節行事への協力、車いす介助講習会の開催
施設作業	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設からの申し出により草刈、植木の剪定
音訳 「まほろば」	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者・高齢者の方へ“町広報誌”“議会だより”を音訳録し、定期的に配布
音読 「つくし」	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設や小中学校で物語、民話、紙芝居、絵本、童話などの朗読奉仕と手遊びなどを行っている。
収 集	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日に牛乳パック、アルミ缶、プルタブ等の収集整理をしている。この収益は、地域福祉活動に役立てている。（施設などへの寄付など）
点 字	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育への協力につとめ、点字講座の講師や協力、また町内の学校での点字指導などを行っている。
運 転	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりの高齢者や車椅子等使用者の通院、外出等の依頼に町社協リフト車の運転をしている。また、ほほえみの里デイサービス利用者の送迎車両の運転に協力している。
園 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設入所者の園芸活動（草花や野菜の栽培、収穫）のお手伝いをする。野菜の収穫祭や忘年会等行事のお手伝いをする。
傾 聴	<ul style="list-style-type: none"> ・町内高齢者の自宅や施設を訪問し、傾聴を通じての話し相手と相談、利用者への情報提供を行っている。
そばっこ	<ul style="list-style-type: none"> ・そば打ちをサロンや施設などにおいて、材料費のみで実演。
お茶とお花	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設や小学校で抹茶とお花による交流
サロン連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各サロン間の情報交換並びに運営の推進。
コーラス 「ははこぐさ」	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設で利用者さんと歌を歌ったり、手遊びなどを行っている。
トーンチャイム 「チャイムブーケ」	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、各サロンでのハンドベルの演奏活動

たんぽぽグループ	・マジック、囲碁、踊り、お茶とお花、大型紙芝居、手話、フォークソング、バルーンアートの上演など町内の小学校、福祉施設等で活動している。
朗読グループ（楽声）	・小中学校での朝読書の時間帯に読み聞かせ。 ・図書館での紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊び、ブックスタート。 ・福祉施設、サロンでお話、朗読、歌唱の実施。
ベルフラワー	・月2回トーンチャイムの練習・福祉施設への慰問活動
さきいかシスターズ	・幼稚園・小学校でパネルシアター、読み聞かせ等
こころでつながる仲間	・ボランティア連絡協議会所属グループのZOOMリモート施設活動を支援 ・スキルアップ研修の実施

(2) ボランティアだよりの発行

ボランティア活動の啓発を図るため、ボランティアだより「こんにちはボランティア」No. 103～108を発行し、全戸配布した。

【福祉教育】

(1) 地域福祉教育実践校事業

町内の児童・生徒に対する福祉意識の啓発を図るため、町内7つの小中学校及び高校（合計8校）を地域福祉教育実践校として継続指定し、実践校連絡会を開催した。例年、函南町社会福祉大会の中で、福祉教育の取り組みについて発表していただいていたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

(2) 小学校での福祉講話

新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

【小地域福祉活動】

(1) 災害支援ネットワーク事業

民生委員児童委員協議会及び町が作成している避難行動要支援者台帳の整備に協力した。

【広報啓発活動】

(1) ふれあい広場について

ふれあい広場を、令和2年10月18日（日）に開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

【援護事業】

(1) 小口資金貸付事業（生活費として 貸付限度額50,000円 貸付日より1年間は無利子）

生活が困難な世帯に対して緊急を要した場合に資金を貸し付け、自立更正の助けとなるよう返済指導を含めた生活全般にわたる指導を行った。 貸付件数 27件 883,480円（前年度 17件 495,590円）

(2) 生活福祉資金貸付事業（貸付対象＝低所得、身体障害者、知的障害者、高齢者の世帯）

静岡県社会福祉協議会が行う上記資金の貸付について、世帯の自立を図るため資金貸付の相談を行った。また、新型コロナウイルス感染症による特例貸付について、緊急小口資金146件、総合支援資金（延長、再貸付含む）53件の申請を行った。

(3) 離職者支援資金貸付事業

県社会福祉協議会が行う上記資金は、制度改正により現在の取り扱いはないが、すでに貸し付けている世帯の償還指導を行った。

(4) 不動産担保型生活資金貸付事業

県社会福祉協議会が行う資金の貸付で、現在居住し、また将来にわたって住み続けようとしている建物を所有している高齢者に

土地、建物を担保として、生活資金を貸し付ける制度で、資金の貸付相談を行った。（貸付利用件数 2件）

(5) 法外援護

住所不定で職探しなどの目的のために、目的地へ行くための旅費がない人の旅費援助として、1回500円の旅費補助を行う。

（旅費援助 1件 500円）（前年度 2件 1,000円）

(6) 生活困窮者自立支援事業

県社会福祉協議会が行う生活困窮者の相談は、生活困窮者自立支援法の制度に基づき、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう支援するための事業を行った。

令和2年度 生活困窮者自立支援制度に関する支援 相談延べ件数 359件（昨年度92件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数	68	60	42	37	22	14	13	17	12	12	23	39	359
プラン作成件数	3	12	13	8	1	7	5	7	6	10	5	7	84
就労支援対象者数	0	7	7	4	0	1	3	3	0	2	2	1	30
住居確保給付金	0	5	6	1	0	0	1	1	0	2	1	0	17
就労支援	1	6	6	4	0	1	1	2	0	0	2	2	25
家計相談	0	0	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	5
一時生活支援	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	6
就労準備支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【福祉団体育成と支援】

- (1) 町老人クラブ連合会への支援
老人クラブ連合会が実施するスポーツ大会等の行事に協力し、必要な支援を行った。
- (2) 身体障害者福祉会活動への支援
身体障害者福祉会が開催するスポーツ大会等の行事に協力し、必要な支援を行った。
- (3) 手をつなぐ育成会活動への支援
手をつなぐ育成会（知的障がい児・者の親の会）が行う地域交流会や研修会等の行事に協力し、必要な支援を行った。
- (4) 精神障害者家族会活動への支援
精神障害者家族会（まごころ会）に必要な支援を行った。
- (5) 遺族会活動への支援
遺族会が行う諸行事に協力し、必要な支援を行った。
- (6) 災害ボランティアネットワーク函南の活動への支援
災害ボランティアネットワーク函南が行う諸行事に協力し、必要な支援を行った。

【社会福祉充実計画の実施】

(1) 職員処遇改善事業

- ① 介護福祉士など福祉資格をもって従事する職員の資格手当の増額分を支給した。
社会福祉士 7人 介護福祉士 6人 介護支援専門員 4人
- ② 常勤職員19人に職員処遇体制加算手当を支給し、職員の処遇改善をはかった。

(2) 地域支援体制整備事業

誰もが気軽に参加できる常設の居場所「いこう家つかもと」を月曜日から土曜日の週6日開所した。午前中に健康体操を行うとともに、ボランティアの協力によりフラダンスエクササイズや太極拳の開催、囲碁や将棋、絵手紙、手芸などを実施した。また、無料でお茶などの提供をした。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月2日から6月14日まで休業。

○利用実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日 数		1	0	12	25	25	24	26	23	24	23	22	26	231
利用合計		16	0	80	142	144	195	245	208	187	181	244	277	1,919
世 代 別	幼 児	0	0	1	2	3	0	2	1	2	0	0	1	12
	小 中	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	6
	一 般	16	0	78	140	141	195	243	207	185	179	242	275	1,901

3. 在宅福祉推進事業

【福祉サービス事業】

(1) ふれあい懇親会の開催

一人暮らし高齢者の孤独感解消をはかり、仲間との交流をもって明るい生活を送ってもらうために、民生委員、町飲食店組合の協力のもと、保育園児やボランティアの演芸等でおもてなしをしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) ガス器具点検の実施、ガス漏れ警報器の設置

一人暮らし高齢者や虚弱な高齢者世帯の方が安心した生活が送れるよう、民生委員及び函南プロパンガス組合の協力によりガス器具点検を実施した。（点検 20 件）また、点検結果によりガス漏れ警報器未設置世帯に対し、警報器を 5 台設置した。

(3) 福祉総合相談事業

住民の福祉の向上を図るため、住民生活に密着した相談事業を展開した。

生活福祉資金・生活困窮相談活動状況

相談件数 2,520 件(前年度 1,033 件) 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

	件数
電話相談・連絡	996 件
訪問・同行支援	204 件
面談	685 件
支援調整会議	84 件
支援調整会議（評価）	65 件
他機関との連携相談	407 件
所内会議	79 件

(4) 福祉機器の貸出

町内の体の不自由な方で福祉機器の貸し出しが必要な方のために、車椅子やポータブルトイレの無料貸出を行った。

貸出状況	車椅子 (保有数 60台)	貸出延べ台数	46台)
	ポータブルトイレ (保有数 5台)	貸出延べ台数	3台)
	4点杖 (保有数 5本)	貸出延べ台数	2本)

4. 共同募金配分金事業

【福祉サービス事業】

(1) 在宅介護者向け茶話会の開催

日頃在宅で高齢者や重度身体障がい者を介護している方々や介護を経験された方々の、情報交換の場として、茶話会を毎月1回開催した。4月・5月については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○開催日 毎月1回開催 年間10回
参加者 延べ参加人数 70名

(2) 身体障害者移送用車両貸出事業

町民で車椅子使用者又は寝たきりの方に対し、通院等移送の必要な方々に身体障害者移送用車両の無料貸出を実施した。

貸出回数 91回 (前年度 68回) (内 運転ボランティア協力回数 51回、前年度 42回)

(3) おもちゃ図書館活動への協力

毎週水曜日、第2・第4土曜日におもちゃ図書館を開いていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休館としたため、来年度の開館に向けて、おもちゃの片づけや管理・消毒方法など対応の検討に協力援助した。

(4) 社会を明るくする運動（運動強調月間 7月1日～31日）

少年の健全な育成及び罪を犯した人の更生等を目指し、犯罪や非行のない明るい環境づくりのために運動を展開したが、例年実施していた、小中学校児童へのポスター依頼、表彰、展示や街頭広報及び地区集会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

(5) 緊急通報システムの設置

一人暮らし高齢者や高齢者世帯の「緊急時の対応」をはかるため、NTTの協力により「シルバーホンあんしんS」を設置した。
設置状況 シルバーホン 令和2年度 新規設置 3台、撤去 5台（令和2年度末現在 37台）

(6) 男性のための料理教室の開催

高齢者世帯や一人暮らし世帯、男性の介護者の増加が予想されるなか、男性にもスムーズに家事、調理に参加できるよう、料理教室の募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症対応のため調理実技を中止し、郵送による在宅ワークや交流会、講師による解説付きの調理映像やライブ配信による調理実技の鑑賞を行い、意見交換等により交流を深めた。

12回開催 延べ参加者数 105人

【広報啓発活動】

(1) 社会福祉大会・福祉講演会の開催

令和3年2月27日（土）に函南町文化センター多目的ホールにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者50人で開催した。大会では、社会福祉功労者（12名、1社）に対し表彰状並びに感謝状を贈呈した。

尚、今年度は、福祉教育実践校活動報告、福祉講演会、バザーは中止とした。

(2) かなみ社協だよりの発行

社会福祉に対する町民の理解と協力を求めるため、「かなみ社協だより」N○150～155号を発行し、社会福祉協議会の活動をPRした。

(3) 社協ホームページ

ホームページにて、社協の行う地域福祉事業や介護保険事業などを紹介。イベント、各種講座等の最新情報を掲載し、社協の活動を広くPRした。

(4) ふくし映画会の開催 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

【いきいきサロン事業】

(1) いきいきサロン

ボランティアや地域住民（区、民生委員、老人クラブ及び食生活改善推進協議会等）の協力により、いきいきサロン事業を町内10地区で実施した。

- 肥田地区（毎月 第1土曜日）・・・肥田公民館
- パサディナ地区（毎月 第2土曜日）・・・パサディナ公民館
- 柏谷地区（毎月 11日）・・・柏谷公民館
- 間宮地区（毎月 第2金曜日）・・・間宮公民館
- 冷川地区（毎月 第1・3土曜日）・・・冷川公民館
- 仁田地区（毎月 第3土曜日）・・・仁田公民館
- 城山地区（毎月 第4日曜日）・・・城山公民館
- 平井地区（毎月 20日）・・・平井公民館
- 上沢地区（毎月 第3金曜日）・・・上沢公民館
- 塚本地区（毎月 第2・4木曜日）・・・塚本公民館

【共同募金事業等募金活動】

(1) 共同募金 (赤い羽根)

地域住民、町内法人及び地区協力員（区長・組長・民生児童委員）や町内小・中・高校の協力により共同募金運動を実施し、また、共同募金委員会等には街頭募金に協力いただいた。

目標額3,420,000円に対し、3,081,297円集まった。（目標達成率 90.10%）（昨年度 3,926,757円）

区 分	令和2年度実績額			
	件数(単位:件) (前年度実績)		金額(単位:円) (前年度実績)	
戸別募金	7,632	(7,827)	2,536,350	(2,528,677)
法人募金	57	(276)	267,780	(1,004,701)
街頭募金	1	(19)	10,745	(128,162)
学校募金	3	(3)	43,794	(49,181)
その他	13	(12)	222,628	(216,036)
合計	7,706	(8,137)	3,081,297	(3,926,757)

(2) 歳末たすけあい募金

地域住民、町内法人及び地区協力員（区長、組長、民生児童委員）や町内小学校の協力により歳末たすけあい運動を実施した。福祉団体による歳末募金のための街頭募金にも協力いただいた。この募金は、町内要援護世帯や福祉団体へ配分した。

目標額2,970,000円に対し、2,887,492円集まった。（目標達成 97.22%）（前年度 2,874,769円）

ア. 寄付金

区 分	令 和 2 年 度 実 績 額	
	件数 (単位 : 件) (前年度実績)	金 額 (単位 : 円) (前年度実績)
戸 別 募 金	7, 5 5 7 (7, 7 6 7)	2, 5 2 4, 9 0 0 (2, 5 2 6, 8 6 9)
法 人 募 金	4 4 (3 2)	2 0 0, 0 0 0 (1 8 1, 5 6 0)
街 頭 募 金	0 (1 4)	0 (7 6, 3 5 2)
学 校 募 金	1 (1)	3 5, 0 0 0 (3 0, 0 0 0)
そ の 他	1 6 (1 6)	1 2 7, 5 9 2 (5 9, 9 8 8)
合 計	7, 6 1 8 (7, 8 3 0)	2, 8 8 7, 4 9 2 (2, 8 7 4, 7 6 9)

イ. 物品寄付

寄贈者：函南ライオンズクラブ、寄贈品：玄米茶 125 袋、贈呈先：町内 12 の福祉施設と居場所 12 か所に贈呈

ウ. 要援護世帯等配分先

区 分	対象者数	金 額 (円)	備 考
歳末たすけあい助成金配分	1 4 9 世帯	1, 3 1 4, 0 0 0	高齢者世帯、障害者世帯等
事務費等		3 3, 0 0 0	振込手数料、消耗品費
合 計		1, 3 4 7, 0 0 0	

(3) 地域交流講座

地域の高齢者が持つ伝統技術を学び後世へとつなげていくことを目的に、技術ある老人クラブの会員を講師に親子で玄関飾りづくりを学び、伝統技術の伝承の大切さと異世代の地域住民相互の交流を図っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

5. 福祉サービス利用援助事業

【日常生活自立支援事業】

(1) 日常生活自立支援事業の実施

判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がい者などの方に対し、「福祉サービスの利用援助」を基本サービスとして「日常的金銭管理」や「書類の預り」を本人との契約に基づき行った。また、この事業を通じてできるだけ不安のない日常生活が送れるように支援した。

令和3年3月末 契約件数 19件（令和2年度新規契約 7件）

相談援助件数累計（問い合わせ・相談件数）

単位：件

内 容 事 項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
A. 問い合わせ件数 (制度、事業について)	1	0	3	3	0	7
B. 初回相談件数 (初回相談受付)	6	0	1	7		14
C. 相談援助件数 (A. B以外)	130	157	580	602		1,469
合 計	137 (118)	157 (71)	584 (595)	612 (231)	0 (0)	1,490 (1,015)

6. 受託事業

(1) 手話通訳者派遣事業

函南町より委託を受け、町内に在住する聴覚障がい者等に対し、コミュニケーションの手段として手話通訳者を派遣した。

利用者 2名 派遣回数 4回 (派遣 手話通訳者数2名)

(2) 要約筆記者派遣事業

函南町より委託を受け、町内に在住する聴覚障がい者等に対し、コミュニケーションの手段として要約筆記者を派遣した。

利用者 1名 派遣回数 3回 (派遣 要約筆記者数2名)

(3) ベビー・キッズ用品貸出事業

子育て世代の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備するため、チャイルドシートやベビーカーなど物品の無料貸し出しを行った。

(貸出状況)	ベビーカー (A型)	(保有数	6台	貸出延べ台数	7台)
	ベビーカー (2人乗り)	(保有数	3台	貸出延べ台数	2台)
	ベビーカー (B型)	(保有数	2台	貸出延べ台数	3台)
	ワンタッチベビーベッド (ミニ)	(保有数	3台	貸出延べ台数	8台)
	ワンタッチベビーベッド	(保有数	4台	貸出延べ台数	4台)
	組み立て式ベビーベッド	(保有数	3台	貸出延べ台数	6台)
	チャイルドシート	(保有数	18台	貸出延べ台数	29台)

(4) 生活支援コーディネーター設置事業

函南町より委託を受け、高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進するため、地域における資源開発やネットワーク機能の構築を果たす生活支援コーディネーターを設置。具体的には、生活支援等の担い手の養成及びサービスの開発、生活支援に係る関係団体とのネットワークの構築、生活支援等のニーズとサービスのマッチングなどを行う。平成29年度より、生活支援体制整備協議

体を設置し、見守り支援体制づくりや移動支援といった住民ニーズの高い課題について検討した。

また、令和元年度より、第2層生活支援コーディネーターとして職員を増員。よりきめのこまやかな地域づくり活動に取り組んだ。

① 課題検討会議・研修会等の実績

単位：回

区 分	回 数	備 考
(1) (2)から(8)以外の第1層、第2層の取り組み	371	
(2) 地域の支えあい勉強会	32	
(3) ボランティア養成講座	20	
(4) 協議体関係	96	
(5) 居場所づくり関係	40	
(6) 情報交換会	69	
(7) 周知活動	27	
(8) 福祉課包括連絡会	17	
合 計	672	(前年度 800)

② 移動支援サービス「かなみおでかけサポート（運転ボランティア）」

地域住民がボランティアとして居場所への参加を「移動」の面からサポートする会員制のしくみ。地域で、自立した生活を継続するため、会員のうち希望者には買い物ツアーを併せて実施。また、より安定的な事業実施のため、介護予防・生活支援総合事業該当部分について函南町に補助金を申請した。（訪問型サービスD、令和元年度から通所型サービスD補助金も申請）

利用会員：21人、協力会員（ボランティア）：21人 （3月末現在）

運行日数 175日、延べ 481人

③ 生活支援サービス「かなみ暮らしの応援隊（生活支援ボランティア）」
既存の公的制度だけでは対応が難しい日常的な困りごとについて、地域住民がボランティアとしてサポートする会員制のしくみ。
利用会員：41人 協力会員（ボランティア）：41人（3月末現在） 活動回数：延べ 518回

④ 介護予防サービス「介護予防ボランティア」
介護予防体操の研修を受けたボランティアトレーナーが、地域の居場所へ出向き、参加者と交流を図りながら、より安全で効果的な体操による健康寿命を延ばすことを目的とした活動。
派遣回数：17回（体操参加者延べ 111人）、ボランティア登録数17人（3月末現在）

⑤ 農福連携事業「みんなでつくるコミュニティ農園・ときどきファーム」
地域の支え合い協議会（生活支援体制整備協議体）において検討してきた「地域の人材活用」の具体的な取り組みの一つとして、令和2年度新たに事業を開始。地域のアクティブシニアが仲間づくりや介護予防、居場所づくりを目的として活動した。柏谷農園（実習農園）、間宮農園（居場所づくり）の2か所を運営し、農園ごと特色ある活動ができた。
参加者 23名 参加者ミーティングの開催 2回 延べ38人
地域交流活動の実施 2回（仁田マーガレット保育園との交流）
全体作業の実施 14回 延べ144人
見回り当番 週7日実施（10～3月） 2農園 330回

(5) 産後ケア訪問型家事支援事業

函南町より委託を受け、函南町産後ケア事業実施要綱に基づき、対象者の依頼を受け日常生活上で生活支援を必要とする世帯にホームヘルパーを派遣し家事支援を提供した。

調理支援:利用者3名、7回。掃除支援:利用者2名、3回

(6) 成年後見事業

① 市民後見人養成講座の開催

3市1町（三島市、伊豆の国市、伊豆市、函南町）の協働事業として、伊豆の国市を会場に昨年引き続き講座を開催し、函南町から6名が受講した。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全3回の講座とDVD学習を実施した。

開催日：令和2年10月14日、12月3日、令和3年2月5日

② 市民後見人養成講座フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座は行わず、市民後見人のしおりを作成し平成30年及び令和元年度に受講修了した方に配布した。

③ 成年後見運営委員会の開催

委員会を4回開催し、市民後見人養成講座の報告を行い、次年度事業の計画の検討と法人後見受任検討等を行った。

委員会開催日：令和2年6月4日、9月24日、12月24日、令和3年2月25日

④ 成年後見制利用促進における中核機関立ち上げ準備

委員会を3回開催し、立ち上げに向けた準備及び近隣の社会福祉法人三島市社会福祉協議会へ視察を行った。

委員会開催日：令和2年6月4日、9月24日、12月24日、令和3年2月25日

広報のため、弁護士による成年後見理解促進に関する研修を2回に分けて開催した。

7. 介護保険事業

【居宅介護支援事業】

介護保険サービスを利用する居宅の要介護者に対し、日常生活において必要な保健・医療・福祉サービスを適切に利用できるよう居宅サービス計画を作成し、そのサービス計画に基づいてサービス事業者等との連絡調整を行った。

(1) ケアプランの作成件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成対象件数	56	56	57	64	59	57	61	64	63	58	55	62	712
()内昨年度値	(49)	(47)	(47)	(48)	(51)	(47)	(51)	(50)	(51)	(55)	(58)	(60)	(614)

(2) 要介護認定調査

介護保険制度を利用するため保険者からの認定調査の依頼を受けて実施した。

調査件数 4件 (前年度 4件)

(3) 介護予防支援業務委託事業

要介護認定により要支援1・2に認定された方の介護予防ケアプランを地域包括支援センターの委託を受け実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成対象件数	11	9	9	11	9	12	14	13	12	12	11	11	134
()内昨年度値	(11)	(11)	(10)	(12)	(10)	(10)	(9)	(10)	(10)	(10)	(10)	(11)	(124)

【訪問介護事業】

(1) 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

介護保険法に基づき、要介護認定において要介護1～5の認定を受けた方の日常生活上で身体介護や生活援助を必要とする世帯にホームヘルパーを派遣し、訪問介護を提供した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣実件数	28	26	28	29	31	30	29	31	33	32	33	30	360
()内昨年度値	(30)	(24)	(23)	(23)	(18)	(15)	(14)	(17)	(18)	(21)	(24)	(24)	(251)
派遣回数	270	238	262	274	275	322	319	320	298	273	310	324	3,485
()内昨年度値	(279)	(306)	(261)	(241)	(222)	(194)	(203)	(213)	(216)	(246)	(244)	(246)	(2,871)

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護事業）

介護保険法に基づき、要介護認定において介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうちの日常生活上で身体介護を必要とする方々にホームヘルパーを派遣し、訪問介護を提供した。

(独自)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者件数	1	2	3	3	2	2	3	3	3	4	3	3	32
訪問回数	11	26	36	26	21	21	33	32	20	39	32	38	335
	(13)	(3)	(9)	(9)	(9)	(7)	(9)	(9)	(8)	(7)	(7)	(9)	(99)

介護保険法に基づき、要介護認定において介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうちの日常生活上で生活支援を必要とする方々にホームヘルパーを派遣し、生活援助を提供した。

(サービスA)

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者件数	19	17	14	15	16	16	17	17	18	18	15	18	200
訪問回数	171	143	152	162	156	182	180	160	162	148	142	189	1,947
	(132)	(116)	(112)	(156)	(142)	(145)	(136)	(156)	(108)	(100)	(105)	(120)	(1,524)

【通所介護事業】

(1) 通所介護事業（ほほえみの里デイサービス事業）

介護保険法に基づき、閉じこもりがちな高齢者に対し、通所介護を提供した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用件数	49	44	48	46	45	44	44	43	44	45	42	45	539
()内昨年度値	(49)	(49)	(47)	(48)	(48)	(50)	(50)	(52)	(51)	(51)	(47)	(49)	(591)
延べ人数	359	344	388	438	387	394	427	406	377	393	372	442	4,727
()内昨年度値	(420)	(428)	(414)	(429)	(447)	(419)	(450)	(435)	(414)	(388)	(402)	(394)	(5,040)
入浴回数	314	302	332	374	329	345	374	341	332	348	335	402	4,128
()内昨年度値	(367)	(379)	(426)	(391)	(411)	(382)	(394)	(377)	(348)	(336)	(344)	(349)	(4,504)
食事提供回数	358	344	387	438	387	394	427	406	377	393	372	442	4,725
()内昨年度値	(420)	(428)	(414)	(429)	(447)	(419)	(450)	(435)	(414)	(388)	(402)	(394)	(5,040)
運営日数	26	26	25	26	26	25	26	26	24	24	25	26	305
1日平均利用者数	13.81	13.23	15.52	16.85	14.88	15.76	16.42	15.62	15.71	16.38	14.88	17.00	15.50
()内昨年度値	(16.15)	(16.46)	(16.56)	(16.50)	(17.19)	(16.76)	(17.30)	(16.73)	(17.25)	(16.16)	(16.08)	(15.15)	(16.52)

(2) 介護予防通所介護事業

介護保険法に基づき、閉じこもりがちな高齢者に対し、介護予防通所介護を提供した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	16	17	18	16	18	19	20	20	20	19	18	19	220
()内昨年度値	(25)	(24)	(25)	(23)	(22)	(20)	(19)	(19)	(17)	(16)	(17)	(17)	(244)
延べ人数	84	91	102	101	95	123	123	106	106	96	79	126	1,232
()内昨年度値	(128)	(131)	(125)	(136)	(121)	(102)	(100)	(83)	(83)	(85)	(95)	(97)	(1,286)
入浴回数	38	46	51	44	43	53	45	43	41	43	28	69	544
()内昨年度値	(48)	(70)	(59)	(63)	(59)	(51)	(45)	(39)	(34)	(37)	(40)	(45)	(590)
食事提供回数	84	91	102	101	95	123	123	106	106	96	79	126	1,232
()内昨年度値	(118)	(126)	(117)	(136)	(121)	(102)	(100)	(83)	(83)	(85)	(95)	(97)	(1,263)
運営日数	26	26	25	26	26	25	26	26	24	24	25	26	305
1日平均利用者数	3.23	3.50	4.08	3.88	3.65	4.92	4.73	4.08	4.42	4.00	3.16	4.85	4.04
()内昨年度値	(4.92)	(5.03)	(5.00)	(5.23)	(4.65)	(4.08)	(4.73)	(4.19)	(3.45)	(3.54)	(3.80)	(3.73)	(4.21)

8. 障害者自立支援事業

【障害者居宅介護事業】

(1) 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、家事援助などホームヘルパー派遣を実施した。

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者件数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	訪問回数	14	13	16	12	12	12	15	14	13	11	13	15	160

9. 地域包括支援センター事業

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2認定で、訪問介護、通所介護のみ利用している場合は、更新申請せず基本チェックリストを受け、事業対象者とし、総合事業のサービスを利用する方の介護予防ケアマネジメント計画を作成した。また、要介護・要支援の区分変更となった際には円滑にサービスが継続利用できるよう、同じ居宅介護支援事業所に委託した。なお、平成31年4月より、短期集中支援訪問サービスが開始され、理学療法士による訪問リハビリを半年間活用し、社会参加につながるケースがあった。

函南町内の要支援認定者数	243人		
函南町内の事業対象者数	133人		
介護予防サービス利用者実数	199人 (令和3年3月末給付管理数)		
*介護予防ケアプラン受け持ち数		*介護予防ケアマネジメント受け持ち数	
函南町地域包括支援センター	53件	函南町地域包括支援センター	70件
委託事業者 (21事業所)	50件	委託事業者 (21事業所)	26件

単位：件

	相談	サービス調整	担当者会議	モニタリング	移行等調整	申請代行	契約	合計
① 介護予防ケアプラン	781	222	137	169	56	29	38	1,432
② 介護予防ケアマネジメント	343	86	91	92	35	57	19	751
合計	1,124	308	228	261	91	86	57	2,183

(2) 権利擁護事業

○虐待相談内容 (延べ数)

介護放棄	1件
身体的虐待	23件
経済的虐待	0件
心理的虐待	0件
性的虐待	0件
合計	24件

○虐待対応区分 (延べ数)

① 訪問による実態把握・情報収集	15件
② 行政への通報・コア会議の開催	12件
③ 施設措置入所への連携、支援	0件
④ 各関係機関等連携、ケース検討会の開催	14件
⑤ その他	4件
合計	45件

○ 成年後見制度、日常生活自立支援事業の相談、申し立て支援

- ・金銭管理等に関する相談・助言 0件
- ・成年後見制度利用支援 3件
- ・日常生活自立支援事業利用支援 1件

(3) 消費者被害相談

- 相談件数 4件
- 各介護サービス事業者への情報提供 3件

(4) 高齢者安心地域ネットワーク事業

この事業は、徘徊及び徘徊の恐れのある高齢者等を地域の支援を得て早期に発見できるよう、協力関係機関等と協力し、高齢者の安全と家族等への支援を図ることを目的とした事業への利用登録等を行った。

- 新規利用登録者 3名
- 登録削除 1名
- 搜索依頼 0件

現在の登録状況 登録者 14名 (事業開始からの状況 登録者78名、登録削除者64名)

(5) 相談業務

相談対応回数 1, 466回 (昨年度 1, 164回)
内訳 窓口相談 300回、電話相談 905回、訪問相談 261回

(相談内容)

・介護保険関係	874件 (前年度 786件)
・介護保険サービス (住宅改修・福祉用具)	103件 (前年度 112件)
・介護相談、介護方法等	84件 (前年度 24件)
・地域支援事業 (介護予防事業)	35件 (前年度 14件)
・保健・福祉サービス	42件 (前年度 7件)
・施設入所関係	26件 (前年度 29件)
・健康状態	134件 (前年度 53件)
・その他	168件 (前年度 139件)

(6) 認知症による徘徊相談 延べ 4件

(7) 支援困難ケースへの対応 (個別ケア会議開催含む) 延べ 41回

(8) 介護支援専門員相談対応 延べ 72回

(9) 介護支援専門員勉強会(地域ケア会議事例検討会含む) 5回

函南町内の主任介護支援専門員8人で、函南町内の居宅介護支援事業所に従事している介護支援専門員を対象に実施。
また、静岡県介護支援専門員協会より講師を招いて研修を実施した。

(10) 地域ケア会議 5回

居宅介護支援事業所の介護支援専門員が日頃関わるケースの中で、支援の方法や地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげる目的で開催した。今年度から介護保険事業所だけでなく、新たに民生委員や医療関係者も参加し実施した。

(11) その他の事業

- ① 個別ケース会議 39回
利用者について職員全員で情報共有した。困難事例に対して定期的開催し検討することで職員の対応力が向上した。
- ② 地域密着型運営推進会議 2回
- ③ 特別養護老人ホーム検討会 6回
- ④ 関係団体会議・研修等への参加 23回
- ⑤ 看護学生等実習生の受け入れ（看護学校2校、看護協会） 25日

10 認知症総合支援事業

(1) 認知症地域支援推進員に関する実績 開館日 255日 認知症地域支援推進員 1名配置

(2) 認知症地域支援・ケア向上事業

- ① 認知症カフェ 13回
(内、スイカフェ7回、毎回15名参加 ふる～るカフェ6回、毎回6～8名参加)
- ② 認知症キャラバンメイト連絡会 3回 (函南町内キャラバンメイト26名)
- ③ 認知症サポーター養成講座 9回
- ④ 認知症疾患医療センター連携 12回 (月1回開催)
- ⑤ 多職種協働研修会 多職種連携研修会 1回
- ⑥ 認知症対応力向上支援事業 16回

- ⑦ 若年性認知症支援 若年性認知症のジョブサポートの研修参加
- ⑧ 地域密着型介護事業所運営推進会議 2回 (グループホームつながり)
- ⑨ 認知症初期集中支援チーム員会議 16回

11 在宅医療・介護連携相談員設置事業

(1) 在宅医療・介護連携相談員に関する実績 開館日 240日 在宅医療・介護連携相談員 1名配置

(2) 在宅医療・介護連携推進業務事業

- ① 医療機関・介護事業所・施設対象 啓発と課題の抽出 6回
- ② 多職種連携研修会 1回 (準備、打合せ 58回)
- ③ ワーキンググループ 課題抽出と対応策の検討 15回
- ④ 住民対象 看取りに関する普及啓発 65回 (出前講座 3回)
- ⑤ 在宅医療・介護連携推進会議出席 1回
- ⑥ 相談員の活動周知 7回
- ⑦ 福祉課担当との連絡会 12回
- ⑧ 相談業務 87回

12 就労継続支援B型事業所（函南町わかくさ共同作業所）の運営

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として、障がい者の地域生活の支援と就労を促進するため、次の事業を実施した。

(1) 利用者の状況 通所人員 19名（定員20名）（令和3年3月末現在）

（障害別状況）

単位：人

区分	知的障害者	身体障害者	精神	合計
男性	10	2	0	12
女性	5	1	1	7
合計	15	3	1	19

(2) 事業実施数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	18	21	21	20	20	22	19	21	19	18	23	243
利用延べ人数	411	363	445	399	368	382	405	360	374	351	336	428	4,622
()内昨年度数値	(407)	(404)	(399)	(452)	(408)	(389)	(437)	(396)	(418)	(389)	(385)	(425)	(4,909)

(3) 就労支援事業

- a 下請け事業・・・菓子類紙箱折、広告の折り、くつひも
- b 自主製品等・・・クッキーなどの菓子の製造、野菜作り、ぼかし、縫製品など
- c その他・・・・・・アルミ缶や古紙回収 ※作業の手伝い等で、ボランティアの協力をいただいた。

(4) 福祉事業

- a 自分のことが可能な限り自分で出来るように、自立訓練を実施した。
- b 料理教室等を実施し、自立に向けた意識啓発をした。
- c 他の施設の見学等の勉強、買い物等の社会体験、絵手紙教室等の趣味活動を実施した。

事業報告附属明細書

- ・事業報告書により活動内容を詳細に報告してあるため、附属明細書は該当事項なし。